

目前に迫る2025年度大学入試に向けた 進路指導と学習指導のポイント

現行の学習指導要領に対応した初めての入試となる2025年度入試が近づいてきた。そこで、今号は生徒の希望進路の実現に向けた今後の進路指導と学習指導のポイントを、現高校3年生の志望動向や、高校教師を対象としたアンケート調査の結果を踏まえてお伝えする。

25年度入試を取り巻く環境を整理する

減少が続いていた18歳人口 25年度入試では増加

まずは、24年進研模試「大学入学共通テスト模試・6月」の分析結果を基に、25年度入試を取り巻く入試環境について整理する。

18歳人口は、23年度まで減少が続いていたが、24年度は約110万人となり、前年度から約2・5%増加すると予想される。だが、22年度以前の数値と比較するとおおむね低い水準にあり、23年度入試の時点で既卒生の減少による受験競争の緩和が進んでいたことも踏まえる

と、25年度入試において競争が極端に過熱するようなことは考えにくいだろう。

24年進研模試「大学入学共通テスト模試・6月」の受験者数は対前年指数102と、おおむね18歳人口と同程度の増加だ(図1)。国公立大学、私立大学の志望者数も、対前年指数102。また、私立大学志望者の内訳を見ると、一般方式が対前年指数101に対し、共通テスト方式が対前年指数106と、志望者数の増加が目立った。

教科型別の受験者数は、5教科型では文系の方が受験者数の対前年指数が大きかった(図2)。文系の対前年指数の

増加は、文系学部の人気が回復傾向にあることも要因として考えられる。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更された影響もあり、24年度入試では語学・国際関係学系統の人気回復が見られていたが、今回の志望動向でも、国公立大学、私立大学ともに語学・国際関係学系統の志望者数が増加し、25年度入試でも人気の回復傾向が続くと考えられる。

同様に、社会学系統の観光学系統の志望者数の対前年指数が国公立大学で108、私立大学では109と増加しており、人気回復が続く可能性が高い。近年は理系学部の人気が高い傾向が続いていたが、今回の志望動向では、国公立大学、私立大学ともにそうした傾向は明確には見られなかった。

図1 進研模試「大学入学共通テスト模試・6月」受験者数・志望者数の推移

	受験者数	志望者数			
		国公立大学	私立大学	私立大学(一)	私立大学(共)
2024年度	409,210	840,669	1,502,955	1,058,247	444,708
2023年度	400,515	824,222	1,470,035	1,050,205	419,830
指数	102	102	102	101	106

図2 進研模試「大学入学共通テスト模試・6月」教科型別受験者数の推移

	教科型別受験者数					
	6-9 文系	6-8 理系	5-8 文系	5-7 理系	私文3教科	私理3教科
2024年度	103,498	127,208	109,603	130,935	212,266	163,907
2023年度	-	-	106,612	129,773	207,372	161,482
指数	-	-	103	101	102	102

※私立大学(一)は一般方式、私立大学(共)は共通テスト方式。※指数は前年度の人数を100とした時の数値。

「大学入学共通テスト模試・6月」における志望動向から分かる、今後の進路指導のポイント

国立大学は「強気の志望」に落ち着きが見られた

18歳人口の減少によって受験競争の緩和が進んだことで、近年は、難関大学への強気のチャレンジ志向が継続してきた。現高校3年生においても、2年次に受験した「大学入学共通テスト模試・2月」までは難関大学の志望者指数が高

図3 大学入学共通テスト模試・6月 国公立大学 志望動向

	志望者数		指数
	24年度	23年度	
国公立大学	840,669	824,222	102
国立大学	614,526	606,221	101
公立大学	226,143	218,001	104

	志望者数		指数
	24年度	23年度	
難関国立10大学	146,671	144,313	102
ブロック大学	182,307	175,489	104
その他の国公立大学	511,691	504,420	101

※難関国立10大学：北海道大、東北大、東京科学大、東京大、一橋大、名古屋大、京大、大阪大、神戸大、九州大。
 ※東京科学大の2023年度の値は東京医科歯科大と東京工業大の合算値。
 ※ブロック大学：筑波大、千葉大、横浜国立大、新潟大、金沢大、岡山大、広島大、熊本大、東京都立大、大阪公立大。
 ※総計は中期日程と独自日程を含む。

い傾向が続いていた。しかし、3年生になって受験した「大学入学共通テスト模試・6月」では、私立大学の志望者指数は高い傾向が続いているものの、国立大学については強気の志望に落ち着きが見られた。具体的には、難関国立10大学の志望者数の対前年指数が102と、おおむね18歳人口と同程度の増加に落ち着いている(図3)。

そうした志望動向の変化が生じたのは、生徒にかかる共通テスト対策の負担が25年度入試から大きくなくなったことが理由として考えられる。中でも原則として6教科の受験が求められる国立大学では負担が大きくなりやすく、志望校の入試教科・科目を確認した結果、不安になった受験生が少なくないようだ。公立高校のある教師は、「新たに

課される『情報I』が、模擬試験で思うように得点できず、想像以上に対策に時間がかかると気づき、負担に感じている3年生は多い」と話す。

私立大学では難関大学の志望者数が増加傾向に

一方、私立大学では、入試難易度の高い大学群ほど志望者数が増加する傾向が見られている(図4)。特に、共通テスト方式の志望者数の増加が顕著だ。それは、共通テスト対策を負担に感じた国立大学志望者が、併願校として私立大学を多めに挙げていることが推測される。また、公立大学については志望者数が増加しているが(図3)、それは共通テストの教科・科目数が国立大学と比較して少ないことが理由として考えられる。

25年度大学入学共通テストは、前年度からの変更点が多く、対策にかかる負担が大きい国立大学志望者が不安を感じるようになり、国立大学に比べると入試教科・科目数の少ない公立大学への志望変更を検討したり、私立大学の併願校を増やしたりする動きが見られていると思われる。そのため、今後の指導におい

図4 「大学入学共通テスト模試・6月」私立大学 志望動向

	一般方式			共通テスト方式			合計		
	志望者数		指数	志望者数		指数	志望者数		指数
	24年度	23年度		24年度	23年度		24年度	23年度	
私立大学全体	1,058,247	1,050,205	101	444,708	419,830	106	1,502,955	1,470,035	102
難関13私立大学を除く私立大学全体	818,466	821,580	100	327,899	319,389	103	1,146,365	1,140,969	100
難関13私立大学	239,781	228,625	105	116,809	100,441	116	356,590	329,066	108
早慶上理	48,894	48,854	100	27,037	22,144	122	75,931	70,998	107
MARCH	103,387	98,713	105	53,293	46,492	115	156,680	145,205	108
関関同立	87,500	81,058	108	36,479	31,805	115	123,979	112,863	110

※早慶上理は、早稲田大、慶應義塾大、上智大、東京理科大の総称。MARCHは、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大の総称。関関同立は、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大の総称。
 ※指数は前年度の人数を100とした時の数値。

お勧めの分掌
 管理職
 教務担当
 進路担当
 担任

図5 大学・高専機能強化支援事業による入学定員の増加や学部の新設（抜粋）

大学	内容	入学定員の変更	備考
秋田大	情報データ科学部の新設	新設 100 人	理工学部 数理・電気電子情報学科 人間情報工学コース(32人)を募集停止。
筑波大	理工学群工学システム学類、情報学群(情報科学類、情報メディア創成学類)の増員	増員 280人→311人	
横浜国立大	理工学部数物・電子情報系学科 情報工学教育プログラムの増員	増員 47人→70人	
三重大	工学部総合工学科において、電子情報工学コース(仮称)の新設及び情報工学コースの増員	新設 40人 増員 65人→100人	工学部の情報系以外のコースを減員。 30年、32年に工学部以外の学部を減員。
滋賀大	データサイエンス学部データサイエンス学科の増員	増員 100人→155人	経済学部の減員。
神戸大	工学部情報知能工学科を改組し、システム情報学部システム情報学科(仮称)の新設	増員 107人→150人	
広島大	工学部第二類(電気電子・システム情報系)半導体システムプログラムの新設、情報科学部情報科学科の増員	新設 65人 増員 155人→200人	編入学定員(25人)を含む。文、法、経済、理、工学部第二類(電気電子・システム情報系)、生物生産学部を25年、27年に減員。

※大学改革支援・学位授与機構が公表した各大学の申請内容及び各大学が公表している25年度大学入学試験情報を基に編集部で作成。

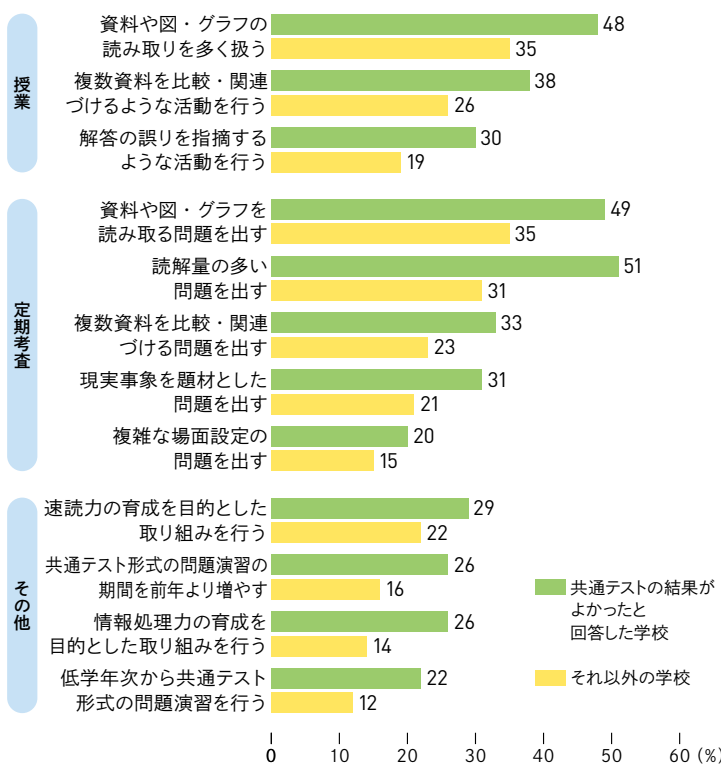
ては、生徒が過度に不安になって国立大学を早々に諦めたり、受験教科を絞ろうと安易に私立大学に志望校を変更したりすることがないように、併願校選びも含めて、出願パターンを戦略的に検討することが求められる。

また、近年の大学入試の特徴として、情報系の学部の新設・入学定員増加がある。文部科学省は、社会におけるデジタル化・脱炭素化をけん引する高度専門人材の育成を支援するために、「大学・高

専機能強化支援事業」を24年度より開始しているが、そうしたことを背景に、25年度入試でも情報系の学部の入学定員の増加が多く見られる(図5)。

入学定員の増加分をどの入試方式で募集するかは、各大学の入学者選抜要項で確認する必要があるが、増員があった募集単位については、入試難易度の変動が予想されるため、今後の動向に注目する必要がある。

図6 共通テストの結果別の学校の取り組み状況



※「新課程および教育活動全般に関する調査」(2024年3月実施)より。共通テストの志願者がいたと回答した700校のデータを集計。
 ※共通テスト全体の結果について「とてもよかった」「よかった」「どちらとも言えない」「悪かった」「とても悪かった」の5段階で回答。「とてもよかった」「よかった」と回答した学校を「共通テストの結果がよかったと回答した学校」、「どちらとも言えない」「悪かった」「とても悪かった」と回答した学校を「それ以外の学校」として集計した。

新課程及び教育活動全般に関する調査から分かる、今後の学習指導のポイント

資料や図・グラフを読み取る力が重要に

24年3月、ベネッセ教育情報センターは、全国の高校教師を対象に、新課程及び教育活動全般に関するアンケート調

査を実施した。共通テスト対策として取り組んできたことのうち、共通テストの結果がよかったと回答した学校と、どちらとも言えない・悪かったと回答した学校で差がついた取り組みを分析したところ、定期考査で読解量の多い問題や、

資料や図・グラフを読み取る問題を出したり、授業において資料や図・グラフの読み取りを多く扱ったりする取り組みで差が見られた。また、授業や定期考査以外では、情報処理力の育成を目的とした取り組みを行う点で差があった(図6)。

共通テストでは、図やグラフなどを含む文章が、教科・科目を問わず問題の中で出される。そのため、生徒には、そうした問題に多く取り組み、読解力を高めることが求められる。そして、定期考査や校内実力テストにおいても資料や図の読み取り、複数資料の比較・関連づけを求める問題などを積極的に出していきたい。

複数の資料や題材を読み取る問題で差があった

24年進研模試「大学入学共通テスト模試・6月」で差があった問題からも、共通テスト本番に向けた学習指導のポイントが見えてくる。

例えば、「日本史探究」の第2問の間4は、正解率は62.1%で、各偏差値帯で正解率に差があった(図7)。その問題では、教科書で学んだ基本

的な知識を前提として、資料で描かれている場面を把握する力が求められた。共通テストでは基本的な知識を活用して資料を読み解く問題が出されるため、授業でも様々な形式の資料を取り上げ、資料から読み取れる情報を素早く整理する力を身につけさせたい。

そうした指導ポイントは、教科・科目を問わず、共通のものと言える。例えば「物理」では、既知の実験結果を基に条件が異なる場合について考察させる問

題(第2問の間6)で、また「生物」では、問題文や図表、資料などから読み取れる情報を基に考察する問題(第2問の間6)で、いずれも正解率に差があった。前述してきた通り、複数の資料や題材、実験や考察の過程などから必要な情報を素早く読み取ったり、得られた情報と既習の知識を結びつけたりする力の育成が、今後の課題と言えるだろう。

図7 正解率に差があった問題

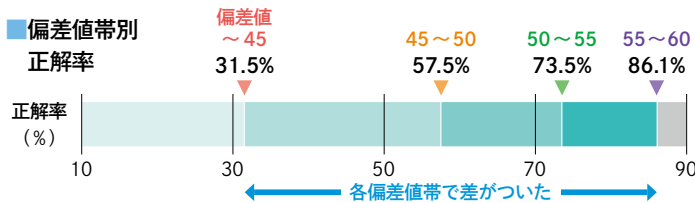
問4 下線部④に関連して、次の資料7は磐井に関する「日本書紀」の記述の一部である。この資料7から読み取れることに関して述べた文あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 13

資料7
(継体天皇)二十一年夏六月壬辰朔甲午、近江毛野臣(注4)、衆六万を率て、任那に往かんと欲す。新羅に渡られたる南加羅・摩己吞(注5)を為復し興し建てて任那に合せんが為なり。ここにおいて筑紫国造磐井、ひそかに叛逆を謀りて…つねに間隙をうかがう。新羅、これを知りてひそかに貨船(注6)を磐井の所にやりて毛野臣の軍を防護せん(注7)ことを勤む。ここにおいて、磐井、火・豊(注8)の二国におそい畏りて、つかえまつらず。…
二十二年冬十一月甲寅朔甲子、大將軍物部大連彥火火、親ら嶽の陣、磐井と、筑紫の島井部と交戦ふ。…遂に磐井を斬りて、果して嶽場(注9)を定む。十二月に、筑紫君葛子、父の罪に坐りて誅せられむことを恐りて、糟屋屯倉を獻りて、死罪贖はんことを求す。…
(注4) 近江毛野臣：ヤマト政權に属する近江地方の豪族。
(注5) 南加羅・摩己吞：それぞれ加耶諸國を構成する國をさす。
(注6) 貨船：賈船のこと。(注7) 防護せん：防衛止めること。
(注8) 火・豊：後の肥前・肥後國と豊前・豊後國に相当する領域のこと。
(注9) 嶽場：境界。

あ 新羅と結んだ磐井は、朝鮮半島に渡ろうとするヤマト政權の軍を妨害した。
い 加耶諸國と結んだ磐井は、朝鮮半島に渡ろうとするヤマト政權の軍を妨害した。
う 磐井の子である葛子は、大王に糟屋の地を献上して死罪を逃れようとした。
え 磐井の子である葛子は、大王に誹謗したため糟屋を私有地として支配することを認められた。

① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

第2問 問4
正解率
62.1%



※【地歴公民】「大学入学共通テスト模試・6月」の傾向とこれからの指導例を基に編集部で作成。
※差があった問題は、各偏差値帯で差があった問題、またはある偏差値帯を境に差があった問題を総称している。

「大学入学共通テスト模試・6月」の結果を基にした指導例

https://bhsso.benesse.ne.jp/hs_online/info/shinken_moshi/doukou20240621_2

「大学入学共通テスト模試・6月」の結果から、今後のご指導にお役立ていただける教科別の指導のポイントを、Benesse High School Online に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

Benesse High School Online
高校の先生の課題解決をサポートする情報サイト

ハイスクールオンライントップページ>テスト・教材活用情報 > 進研模試 > 活用データ > 3年生・6月マーク式 > 受験後 共通テスト模試・6月 活用ポイント

お勧めの分掌
管理職
教務担当
進路担当
担任